



高校生の人権広報誌

“Freedom” 創刊号

2009年10月16日発行

編集 “Freedom” 編集スタッフ

発行 奈良県高等学校人権教育研究会



高校生がつくる人権広報誌 “Freedom” (フリーダム) 創刊!

県内各校の生徒が「編集スタッフ」に参加!

スタッフ会議を開催、広報誌の名前とシンボルイメージを決定

高人教(奈良県高等学校人権教育研究会)では、今年度、県内すべての高校生に向けて、高校生自身が人権に関するいろんな情報を発信していく広報誌を創刊するため、企画・編集に参加してくれる高校生を募集してきました。この呼びかけに応じて、六校十三名(協力スタッフを含む)のメンバーが集まってくれました。創刊号発行のために、これまでに二回「編集スタッフ会議」を開き、活発に話し合ってきました。

広報誌の名前については、一学期末から夏休みにかけて、各校から多数の応募をいただきました(感謝!)。みんなのいろんな思いがこもった応募作の中から、スタッフ一同が悩んだ末に決定したのが、大宇陀高校の吉岡くん、奈良高校の元根くんより応募のあった、「Freedom」でした。

私たちには、この社会を共に生きるものとして、お互いを傷つけあうことなく、それぞれ「自由と平等」を守り育てていく責任があります。



イヌサフラン(Wikipediaより引用)

Freedom という言葉はシンプルですが、一人ひとりが、偏見や差別意識にとらわれず、人権の確立した社会をめざそうという力強いメッセージが込められているように思います。また、ユニークな名前として高田商業高校の杉内さんから「イヌサフラン 悔いなき青春」という応募作がありました。「悔いなき青春」はイヌサフランの花言葉であり、誰一人人権を無視されることのない高校生活をイメージしたということで、この花を広報誌のシンボルイメージにしてはどうか?との提案がありました。スタッフ一同の賛成で決定しました。

いかがでしょうか?そして、できれば誰かこの花で広報誌のシンボルマークを作ってもらえないでしょうか?・・・ということで、「応募お待ちしています。各校の人権教育部など担当の先生を通じてお願いします。さて、誕生したばかりのこのFreedomですが、創刊号は、編集スタッフ自身が取材したり、各校の解放研や人権サークルが活動した内容を中心に誌面をつくりました。

今後は、読者のみなさんからの、人権についての情報や意見なども掲載していきたいと思っています。よろしく願います!

高解研 研修交流会

参加体験記

私は、今年四月に大宇陀高校のヒューライツクラブに入部しました。ヒューライツクラブというのは、広く人権(人として生きる権利)に関する問題を考えていこうという目的のクラブで、人権にゆかりのある名所や施設を訪れたり、県内の解放研等のクラブに所属する高校生と交流して、人権について深く学習していきます。何か難しそうですが、一年生の時には部活動はしていなかったのと、顧問の先生の薦めもあり入部してみました。今回、六月二十一日(日)に桜井市の中央公民館であった「高解研研修交流会」に参加して感じたこと・様子を報告します。

午前中は、インターネットと人権」というテーマで映画「夕映えのみち」を視聴。昼食時は小グループに分かれ、中華料理の「包子 パオズ」(肉まん)をつくり、

試食しながらの交流。調理実習のよくな形で始まったのですが、



他校の生徒といっしょであったので少し緊張しました。午後は、視聴した映画についての感想や意見の発表、インターネットや携帯電話での書き込みについての責任について話し合いました。

私は高解研に参加して、人権のことについて本当に色々なことを学べてよかったです。その中でも、一番に残っていることは、研修でインターネットと人権に関わるビデオを見たことです。悪口をネット上に書き込んだ女の子の気持ちも分かるし、書き込まれた方の気持ちもだつて分かるからです。書き込みをされた女の子はクラス中から仲間外れにされたり孤独感を味わわれていると思いました。何気なく自分が言った言葉や書き込みでも相手に知れたらその子はすごく傷つくし追い込まれると思います。私も人と喋る時、インターネットや携帯電話での書き込みについては十分気を付けようと思えました。あまり深く考えず参加した研修会でしたが、大変有意義な一日になりました。今後も積極的に参加しようと思っています。

「高解研」は奈良県高等学校解放研等連絡会議の略称です。



